

様式1号
(総括票)

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	HOYA株式会社							
代表者名	氏名	鈴木 洋	役職名	取締役執行役				
主たる事務所の所在地	東京都新宿区西新宿6-10-1 日土地西新宿ビル 20F							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	3297 眼鏡製造業 (枠を含む)						
主たる事業の概要	眼鏡用プラスチックレンズ製造							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外 (任意提出) の事業者						
原油換算エネルギー使用量	2652	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	1	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

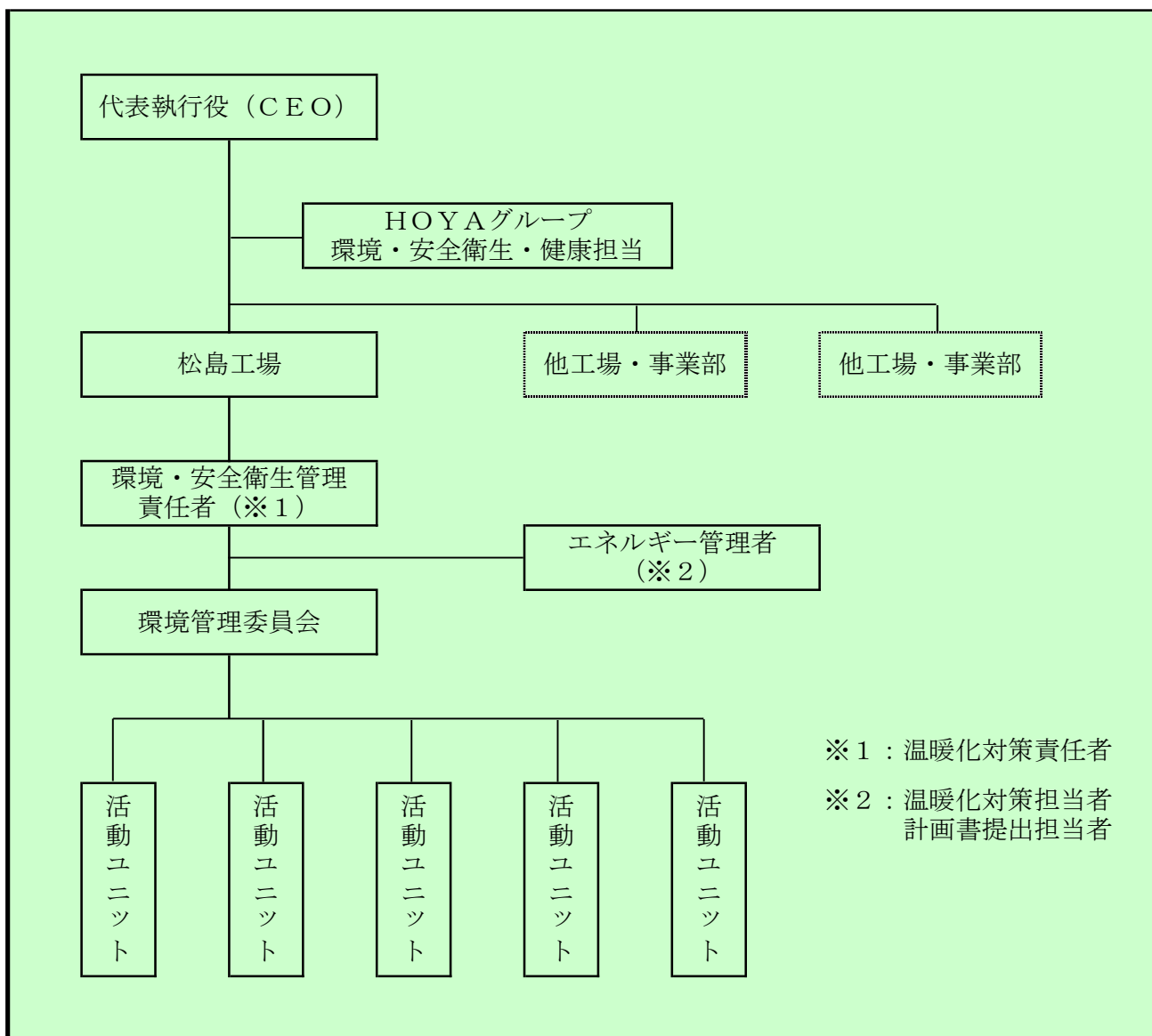
3 計画書 (報告書) の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	場所 松島工場 (長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪 8787) 時間 9:00～16:00 連絡先 0265-70-7123 管理Group 施設チーム
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

HOYAグループ環境理念及び環境基本方針に基づき、松島工場環境管理活動計画を策定し、活動を推進する。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	5,752	t-CO ₂	延床面積	127.6	単位	百㎡	
25年度	調整後排出量	4,510	t-CO ₂	基準原単位	45.08	t-CO ₂ /	百㎡	
目標年度	目標排出量	5,579	t-CO ₂	目標原単位	43.73	t-CO ₂ /	百㎡	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	省エネ法にあわせて、年平均1%の削減目標を設定した。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	5,239	t-CO ₂	延床面積	127.60	単位	百㎡	
	調整後排出量	5,207	t-CO ₂	原単位	41.06	t-CO ₂ /	百㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率※
26年度	削減率	8.91	%	削減率	8.91	%		
排出量等の増減理由	国内製造拠点整備に伴い、エネルギー消費設備(基礎設備・生産設備)の稼働が少なかったため、排出量の削減となった。 また、冬季におけるフリークーリングシステムの構築や、状況に合わせたきめ細かな運転管理を実施したため。							
第二年度	排出量	5,878	t-CO ₂	延床面積	127.60	単位	百㎡	
	調整後排出量	5,851	t-CO ₂	原単位	46.07	t-CO ₂ /	百㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率※
27年度	削減率	(2.20)	%	削減率	(2.20)	%		
排出量等の増減理由	松島工場省エネプロジェクトを発足し、圧縮エアーの漏気調査等、攻めの省エネによる、排出量削減に努めたが、国内製造拠点整備が完了し、エネルギー消費設備の稼働が本格化したことで、排出量が増加した。							
第三年度	排出量	5,728	t-CO ₂	延床面積	127.60	単位	百㎡	
	調整後排出量	5,692	t-CO ₂	原単位	44.89	t-CO ₂ /	百㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率※
28年度	削減率	0.41	%	削減率	0.42	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	目標排出量をわずかに下まわり、目標未達となった。 理由として、基準年度～第一年度にかけて製造拠点整備を実施しており、基準排出量が、工場本格稼働前の排出量であったため、目標未達となった。 前年度(第二年度)に対して、排出量の削減となった。 省エネプロジェクト等により、使用電力の見える化や圧縮エアーの漏気改善等を実施し、エネルギー使用量を削減した。							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量	0	t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330201 空気調和の管理 (冬季間にけるフリークーリングシステム構築)	H26	115	H26	94
2	エネ起	370799 電動力応用設備に係る削減対策 (類似生産設備の統合)	H27	75	H27	68
3	エネ起	360799 ポンプに係る削減対策 (配管改造によるポンプ稼働時間低減)	H27	16	H27	11
4	エネ起	360799 コンプレッサーに係る削減対策 (圧力別配管設置による負荷低減)	H27	17	-	0
5	エネ起	320301 熱利用設備に係る断熱の保全管理 (断熱強化による設備表面積の減少)	H28		-	0
6	エネ起	350604 負荷率の管理 (排水処理設備の運転集約化への移行)	H28		H28	16
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	1242		32	27	36
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	5,752	1	5,239	1	5,878	1	5,728
1,500k1未満								
合計	1	5,752	1	5,239	1	5,878	1	5,728

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	0	0	0	1
合計	0	0	0	1
自動車総数	1	1	1	1
次世代車導入割合				100

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	なし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	通勤距離1.2km以下の自動車通勤禁止
公共交通機関の利用促進	出張時の移動手段は、基本的に公共交通機関を使用する
来客者の交通対策	該当せず
物流の合理化	輸送単位や頻度の合理化

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	2013年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	水使用量削減（上水・井水）・廃棄物排出量削減及びリサイクル率向上 環境意識教育
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 社外省エネセミナーへの参加 省エネルギーに関する内部監査の実施
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 松島工場省エネプロジェクト発足 社外省エネセミナーへの参加 圧縮エアアの漏気調査
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 社外省エネセミナーへの参加 松島工場省エネプロジェクトによる、電気使用量見える化、圧空漏気改善 長野県地球温暖化対策条例改正説明会への参加 水使用量削減（上水・井水） 廃棄物排出量削減及びリサイクル率向上 環境意識教育

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	特になし	
その他		